武　一　中

令和６年４月10日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ６－１号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥

校　長　　中嶋　建一郎

４月９日の入学式で、96 名の呼名の後に新入生に向けて話した内容です。

入学に当たって、今日は皆さんに、皆さんと同じこの４月に中学生になる人が新聞に投書した内容を紹介しようと思います。全文読んでみます。3/30 日の朝日新聞です。

「私が大切にしたい言葉は、『聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥』です。これは「知らないことを聞くのはその時だけ恥ずかしい思いをするが、聞かずに知らないまま過ごすと一生恥ずかしい思いをする」ということわざです。理由は、少し前まで、分からないことを分からないと言いづらかったからです。私の小学校では、高学年から友達同士で教え合う「学び合い学習」が始まりました。始めたばかりのころはつい、「友達にこんなこと聞いていいのかな」と思ってしまい、なかなか「分からないから教えて」と言えませんでした。でも時間がたつにつれて、分からないことを自然に聞けるようになりました。聞かなかったらいつまでも分からないままです。自分をもっと成長させるには、この言葉がぴったりだと思うようになりました。この言葉を心にとどめて、中学校でもがんばっていきたいです。」

鹿児島県の 12 歳の人が書いています。この人は大切にしたい言葉、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」をみつけたようです。自分をもっと成長させるのにぴったりの言葉を心にとどめて、中学校生活を頑張っていこうという決意を示してくれました。

どうでしょう。皆さんもこの人が大切にしたいと思った言葉「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」を大切にしてみませんか。中学生という年代はいろいろなことに対して「恥ずかしい」という気持ちが出てしまう時期です。でも、自分を成長させるために、ちょっと勇気を出して聞いてみるのです。中学校の３年間、「分からないことを聞くこと」が続けられれば、必ず大きな成長につながることでしょう。「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」皆さんも心にとどめてみてください。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

４月８日の着任式・始業式では、新２・３年生の少し成長した引き締まった表情を見ることができました。

始業式では、教育目標の１つ目にある「正しく判断し、進んで実行できる人間になろう」の中の「実行」について話しました。夢や目標を実現させるためには、思ったり、考えたりするだけでなく、実行することが大切だという話です。

私は、一中６年目になります。「実行する」校長を目指して日々励んでいきますので、一年間、よろしくお願いします。